



## 使用済プラスチックのケミカルリサイクル事業が

### 「第29回地球環境大賞」にて「日本経済団体連合会会長賞」を受賞

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、フジサンケイグループ主催の「第29回地球環境大賞\*」において「日本経済団体連合会会長賞」を受賞しました。当社グループが取り組んでいる、使用済プラスチックのケミカルリサイクルによる低炭素な化学品原料化・資源循環事業が環境負荷低減に資すると評価されたものです。表彰式は4月8日、秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと、明治記念館(東京・元赤坂)にて行われる予定です。

当社は2003年より、リサイクル手法の一つである“ケミカルリサイクル”による使用済プラスチックのリサイクル事業を展開中です。当社川崎事業所では、回収された使用済プラスチックを熱分解によりガス化し、水素や一酸化炭素を取り出し、化学品の原料として利用しています。一酸化炭素は炭酸製品に、水素はアンモニアの原料として利用するほか燃料電池車やホテルに設置された燃料電池での発電用として供給するなど、低炭素社会実現に向けた取り組みにも貢献しています。

このような使用済プラスチックを焼却処理しないことによるCO<sub>2</sub>排出削減だけでなく、陸上での資源循環を推進し、海洋流出するプラスチックの削減に寄与する取り組みであることが高く評価され、今回の受賞となりました。

#### 当社における使用済プラスチックのケミカルリサイクル事業



当社グループは、当ケミカルリサイクルをはじめ、鉄のリサイクルに必ず使われる黒鉛電極の世界各地への供給や、日本で最初にアルミ缶リサイクル活動に取り組み、回収済アルミ缶を新たなアルミ缶として製造する（can-to-can）など、環境に配慮した事業活動を積極的に推進しています。

引き続き、社会的課題の解決に貢献する製品・技術・サービスの提供に取り組み、地球環境負荷低減へ貢献してまいります。

以上

\*「地球環境大賞」は1992年、産業界を対象とする顕彰制度として、フジサンケイグループが公益財団法人世界自然保護基金（WWF）ジャパンの特別協力を得て創設した賞。本制度は地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の促進や、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的としており、これらに関して顕著な功績が認められる企業などに贈られる。

◆本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235